

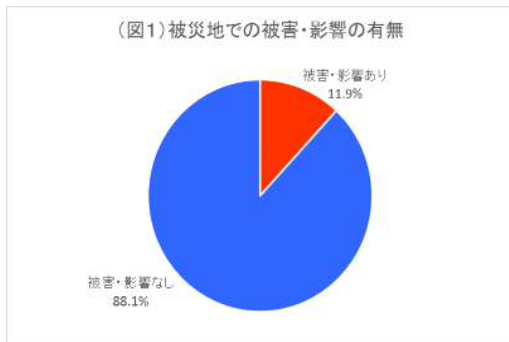
熊本地震の影響について

4月14日以降の熊本地震の影響について、市内企業に対して商工会議所と共同によるアンケート調査及び個別ヒアリングを実施した。

1 アンケート結果（市内企業800社にアンケートを行い311社から回答あり）

（1）被災地での被害・影響の有無

- ・被災地での被害・影響は、88.1%（274社）が「なし」と回答した。
- ・一方、「あり」と回答した企業は11.9%（37社）で、規模別に見ると大規模企業（300人以上）の割合が48.7%となっており、事業活動の範囲が広域にわたる企業を中心に被害が生じている傾向がある。



規模	回答数	影響あり	割合
大規模(300人以上)	38社	18社	48.7%
中規模(100~299人)	53社	7社	13.2%
小規模(99人以下)	220社	12社	5.5%
計	311社	37社	11.9%

（2）市内事業所の影響の有無

- ・「影響を受けている」と回答した企業は15.4%で、「今後懸念される」と回答した企業は14.5%であった。



- ・「影響を受けている」「今後懸念される」影響の主な内容は以下のとおり（複数回答）。
 - ① 「仕入先企業の被災による原材料・部品、商品等の調達難、納期遅れ」 39.8%
 - ② 「納入先企業の被災による売上及び生産の減少、売掛債権等の回収難」 33.3%
 - ③ 「鉄道・道路など物流網の障害による仕入、納入への支障」 33.3%
 - ④ 「景気、消費へのマイナス影響による売上減少」 26.9%

2 ヒアリング結果（市内企業への主な影響）

（１）市内宿泊施設・観光施設

①ホテルのキャンセル

- ・市内宿泊施設のキャンセル（４～６月分）は２３，７００人分
- ・このうち外国人観光客は１１，１００人（韓国が最も多く、台湾と合わせて８割）

②連休中の宿泊者数

- ・連休中（４/２９～５/８）の宿泊者数については、８割のホテルが、例年より少ないと回答。

③連休中の観光施設の入場者数

- ・地震の影響で県外・海外からの観光客は減っているものの、遠方への旅行を避けた近隣市町村からの観光客などにより、市全体としては「例年より少し少ない」程度。

（２）サプライチェーンの寸断による影響

- ・熊本の自動車関連企業の被災により、自動車関連部品の納入先を愛知県に変更。
- ・熊本の自動車関連企業からの部品供給が滞ったことにより、市内工場の操業停止。
（５月５日から操業再開）
- ・熊本のバイク工場が被災したことにより、市内バイク店への商品の仕入れがストップ。

（３）市内に本社を置く市外の営業所・事業所の影響

①製造業

- ・熊本県内の事業所で建屋・設備の被害あり（５月中に再開予定）。

②小売業

- ・熊本県内の店舗で壁が崩れたほか、商品が棚から落下して破損。
（数店舗で再開の見通しが立っていない）